

家庭・集落からはじめる

震災応急 マニュアル



このマニュアルは、家庭、集落、地元消防団における震災直後の応急的な対応をまとめたものです。

実際には、地震の発生時期、時間帯、発生場所等によって対応は異なりますが、村民一人ひとりの行動や集落ぐるみの対応の基本を再確認するために、このマニュアルを御活用ください。

大地震に警戒しよう

いつでもどこにいても地震に警戒しよう

日本は、昔から地震による多くの被害を受けてきました。最近では、平成16年10月23日夕刻、新潟県中越地震が発生し、長野県内で最も震源地に近い栄村も震度5弱から震度4の地震に3度立て続けに襲われました。

地震はいつでもどこで発生しても不思議ではありません。国では、国内で発生すると考えられる地震を数多く予測していますが、新潟県中越地震はその予測に含まれていない断層を震源とした地震であり、今後も想定外の地震が発生する可能性があります。また、河岸段丘上に集落が点在し、秋山地区を抱える本村では、地震の規模によっては集落が孤立してしまうことも考えられます。

地震への警戒を怠らず、あらかじめ対策を講じておきましょう。

地震を知ろう

▶▶ 地震の発生 ◀◀

地震には、主としてプレート境界型地震と内陸地震がありますが、栄村の場合は、特に後者に警戒が必要です。内陸地震は、海と陸の双方のプレートの押合いで、陸プレートの歪みが限界に達したとき、岩石が破壊され地盤に食い違いが生じて発生します。陸プレートで度々破壊が起こる地盤の境目が「活断層」ですが、栄村近辺では、信濃川断層帯、十日町断層帯といった活断層帯の存在が明らかになっています。

▶▶ マグニチュードと震度 ◀◀

「マグニチュード」は地震自体のエネルギーの大きさを表わし、「震度」は各地点での揺れの大きさを表わします。マグニチュードが大きくても震源から遠ければ震度は小さくなり、逆にマグニチュードが小さくても震源が近ければ震度は大きくなります。

▶▶ 震度階級表 ◀◀

震度 1	・屋内にいる一部の人が僅かな揺れを感知	震度 5強	・多くの人が行動に支障を感じる ・棚内の食器類、本の多くが落下 ・重い家具が倒れることがある
震度 2	・屋内の多くの人が揺れを感知 ・電灯等つり下げ物が僅かに揺れる	震度 6弱	・立っていることが困難になる ・固定していない重い家具の多くが移動、転倒
震度 3	・屋内のほとんどの人が揺れを感知 ・棚内の食器類が音を立てることも	震度 6強	・はわないと動くことができない ・固定してない重い家具のほとんどが移動、転倒
震度 4	・かなりの恐怖感 ・つり下げ物は大きく揺れる	震度 7	・自分の意思で行動できない ・ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある
震度 5弱	・多くの人が身の安全をを図ろうとし、一部は行動に支障を感じる ・棚内の食器類が落ちることがある		

もくじ

大地震に警戒しよう.....	1
いつでもどこにいても地震に警戒しよう	
地震を知ろう	
地震発生直後の初動が生死を分ける！.....	2
いざというときの行動の流れ～落ち着いて行動を～	
職場などにいたらどうする	
屋外にいたらどうする	
車を運転していたらどうする	
地震火災を防ぐにはどうする	
日頃から家庭での震災対策を.....	4
家族で地震対策会議を持とう	
家の中や周囲の安全対策を講じよう	
非常持出品を準備しよう	
集落ぐるみで震災対策を.....	5
集落ぐるみの取組が重要	
集落ごとに防災組織をつくろう	
集落における震災応急対策	
その時消防団の活動は.....	7
消防団は集落の防災実働部隊	
消防団の震災応急対策	
消防団の設備は	
家庭・集落・消防団・行政の震災応急対策一覧.....	8
震災避難所一覧.....	9
震災対策関係機関連絡先一覧.....	10

地震発生直後の初動が生死を分ける！

いざというときの行動の流れ～落ち着いて行動を～

地震発生

身を守る

まず我が身を守る...揺れが収まるまで机等の下に身を伏せる

家族の安全を確認...互いに声を掛け合って安全を確認



火の始末

次に火の始末.....コンロの火を消しガスの元栓を閉める



出口の確保

ドアを開けて出口を確保...ドア枠が歪まぬうちに出口確保

初期消火

火元確認・初期消火...出火後1～2分以内ならば消火も容易



避難

非常持出品を持つ...3日分の自給を目途に、荷物は最少限に
電気を切る(避難時)...停電からの復旧通電が火災の原因になる
余震・土砂崩れ等に注意
避難所へ避難...安全な避難経路を選択、隣近所声を掛合い避難

安否確認

安否確認...独居の高齢者等の避難誘導、集落ごとに安否確認
震災情報を確認...ラジオ、有線放送等で正確な情報を



救出

消火・救出活動...二次災害を招かぬ範囲で助け合って救出

備蓄を取り崩し...外部応援が来るまで食料品等は備蓄で賄う
情報の収集...村・県等からの災害情報に注意
引き続き余震に注意
第二次避難所への移動...長期の避難生活が見込まれる場合は第二次避難所への移動も

1～2分

3～10分



10分～数時間

2～3日

職場などにいたらどうする

キャビネットや棚などから離れて、衣類で頭を守り身を伏せましょう。
 エレベーターに乗っていたら、階数ボタンを全部押し、停まったら素早く降ります。閉じ込められたら、インタホンで外部と連絡を取りましょう。



屋外にいたらどうする

ブロック塀、電柱、自動販売機など転倒・倒壊の危険のあるものから離れます。
 窓ガラス、看板などの落下物に注意し、手荷物で頭を守って広場等に避難しましょう。
 土砂崩落に注意し、がけ下や川などには近づかないようにしましょう。
 電車やバスに乗っていたら、吊革にしっかりとつかまったり、姿勢を低くし、停車後は乗務員の指示に従いましょう。



車を運転していたらどうする

ハンドルを取られないようしっかり握り、徐々にスピードを落として停まります。
 道路の左側に停車し、エンジンを止めます。安全が確認できるまでは、車内で待機し、カーラジオで情報を入手しましょう。
 車から離れるときは、窓を閉め、ドアロックはせずに、貴重品を持ってキーは付けたままにします。



地震火災を防ぐにはどうする

地震発生時は、まずは自分の身を守ることが第一です。机の下などに隠れ、揺れが収まってから速やかにガスの火を消しましょう。
 地震による停電が復旧し、通電したことによる火災が発生することがあります。避難するときは必ず電気を切りましょう。
 出火したら近隣に知らせ、119番通報を。出火後1、2分であれば初期消火が可能です。危険を感じたら迷わず避難しましょう。



日頃から家庭での震災対策を

家族で地震対策会議を持とう

常日頃から家族で地震対策を話し合い、次のことを確認しておきましょう。

- ・避難場所と複数の避難経路（避難場所はP9参照）
- ・家族の役割分担
- ・職場や学校にいたときの避難場所や連絡方法
- ・防災用具や非常持出品
- ・親戚等への緊急連絡先



家族の安否確認には、災害用伝言ダイヤルを使う方法のほか、電話のつながりやすい遠方の親戚等を中継点として決めておく方法があります。

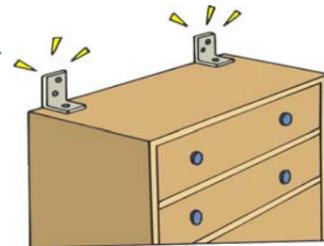
▶▶ 電話がつながりにくいときはNTT災害用伝言ダイヤル「171」 ◀◀

災害が起こると電話がつながりにくくなります。こんなときは、あなたの声を録音すれば全国どこからでも聞くことができるNTT災害用伝言ダイヤルを利用しましょう。

電話の受話器を持って「171」をダイヤル
利用ガイダンス（案内放送）に従って、録音・再生（録音時間30秒以内）

家の中や周囲の安全対策を講じよう

壁や床には筋交い等の補強材を入れましょう。
ブロック塀や門柱の基礎や鉄筋を確認しましょう。
家具の転倒や落下を防止する対策を講じましょう。



非常持出品を準備しよう

いざというときの持出品を準備し、リュックサック等に入れておきます。

- ・食料・水は最低1日分、できれば3日分を用意。
 - ・すぐに持ち出す最低限のものと、後で取りに来るものに分けておく。
- 直射日光の当たらない場所で家族が取り出しやすい場所を特定し保管します。
- ・玄関、勝手口、車のトランクなどに分散しておく。
 - ・年1回は点検し、期限あるものは交換する。

▶▶ 非常持出品 ◀◀

- 貴重品（現金、預金通帳、印鑑、免許証、健康保険証等）
- 食料等（飲料水、乾パン、缶詰等）
- 懐中電灯等（電池、ろうそく等）
- 携帯ラジオ
- 救急医療品（病人の常備薬、傷薬等）
- 衣類（帽子、雨具、上下着、軍手）
- その他（タオル、缶切り、ナイフ、使い捨てカイロ等）



集落ぐるみで震災対策を

集落ぐるみの取組が重要

本村の集落では、かつてよりは薄れてきているとはいえ、住民同士の絆が結ばれ、相互扶助の精神が根づいています。過去に発生した大規模地震の例では、このような住民の結び付きが強い地域ほど、人的被害の拡大が抑えられているとも言われており、この人的なつながりこそが、震災対策の上でもかけがえのない財産になります。また、地震の規模によっては、道路が寸断され、集落自体が孤立する可能性も考えられる中においては、集落ぐるみでの避難や応急対策は必要不可欠なものとも言えます。

集落ごとに防災組織をつくろう

本村では、既に各集落ごとの自治組織である区が存在します。これを活用し、地域の実情に応じ、次のような防災組織としての機能を持たせ、初動時の即応体制を構築しましょう。とりわけ、震災時に大きな被害を受けやすい高齢者などの災害時要援護者（いわゆる「災害弱者」）を支援する「両隣保安サポーター」の配置に力を入れましょう。

- ・実情に応じて複数の者をサポーターにする。
- ・避難誘導の具体的活動手順を予め決めておき、一緒に訓練を実施する。

区分	分担	主な活動
総括	区長	集落の総括、本部・消防団等との連絡調整
補佐	副区長	総括(区長)の活動の補佐
安否確認担当		安否の確認、負傷者の応急手当
避難誘導担当		避難誘導、被害者救助、消火活動
被害調査担当		家屋、道路、ライフライン、山林等の被害状況の把握
避難所担当		避難所の設営、必要な物資の調達・配布
両隣保安サポーター		独居高齢者等の所在把握、安否確認、避難誘導

▶▶ 避難誘導の方法 ◀◀

歩けない人

- ・2人の腕で椅子をつくりその上に座る。



- ・運ぶ人の首に手を回す。



支えがあれば自力で歩ける人

- ・腕を自分の首に巻き手首を握る。
- ・一方の手で腰部分の衣類を握る。



歩けない人

- ・杖を持っていない側で腕を貸して少し前をゆっくり歩く。



集落における震災応急対策

避難

第一次避難所への避難...区長が地区内有線放送、消防サイレン、口伝えなどにより伝達

避難誘導...消防団、誘導担当、両隣保安サポーターにより誘導
安否確認...隣組長 安否確認担当 区長へ



避難所を設営...避難所担当を中心に運営

- ・役割を分担、配給ルールを決定
- ・避難者名簿を作成、情報掲示板で情報を共有
- ・寝具、食料、飲料水等を提供・調達（できれば3日分を目途に）
- ・備蓄物資、義援物資の配分までには2～3日を要することも
- ・発電機、投光器、暖房（ストーブ、コンロ）、燃料等の調達
- ・その他生活必需品の調達

村本部からの指示によっては第二次避難所へ移動

▶▶ 第一次・第二次避難所 ◀◀

第一次避難所:各集落の避難所で、主に住民の安否確認を行う当面の避難施設

第二次避難所:長期にわたる避難生活を目的とした耐震構造の避難施設
 各避難所については、p 9 参照

情報収集・伝達

被災状況を確認...被害調査担当を中心に確認

- ・人的被害（安否を確認、行方不明者の搜索依頼・協力）
- ・住家被害（全壊・半壊を確認）
- ・道路等被害（道路損壊状況、崩落箇所・危険箇所を確認）
- ・通信等被害（有線・電話等の通話状態、他の通信手段を確認）
- ・ライフライン（電気、水道、ガス等の使用の確認）

区長と村本部との連絡...区長と村対策本部との間で密接に連絡

- ・区長から被災状況を村対策本部へ伝達
- ・村対策本部から区長へ災害状況・対処方法を伝達・勧告・指示
- ・区長と村本部との連絡は、次の手段による

- ▶ 小型消防車積載防災無線（地元消防団で管理）
- ▶ 携帯型防災無線
- ▶ 固定電話、携帯電話
- ▶ 有線放送



救助・保護

救出・救助活動...救助を要する住民や負傷者を救出、搬送

応急手当...安全を確保し、観察を行い、それに応じて応急処置

救急搬送や医療チームの派遣を要請

行方不明者の搜索を要請・搜索活動への協力

その時消防団の活動は

消防団は集落の防災実働部隊

消防団は、地域・集落の防災実働部隊として位置付けられるものです。
 集落防災組織の総括である区長と協議・連携しながら、応急活動を展開します。

消防団の震災応急対策

震度5弱以上で自動参集...報道・体感で震度を判断して参集

- ・全員が各班の消防詰所に参集
- ・活動に必要な機材・車両等を確保

参集班員の最高階級位の者が指揮

避難連絡...火の見櫓・ポンプ車のサイレン、スピーカーによる

避難誘導・確認...地域内を巡回、集落避難誘導担当と共に誘導
災害時要援護者の避難支援...両隣保安サポーターと高齢者等を支援
安否確認...集落安否確認担当や隣組長等と協力し確認

初期消火...消火活動による延焼防止

消火の応援要請...状況により他班・消防本部への応援を要請

救出・救助活動...救助を要する住民や負傷者を救出、搬送

応急手当...安全を確保し、観察を行い、それに応じて応急処置

被災状況・安否不明者を確認...踏査による

二次災害危険箇所を確認...踏査による

被災状況等の伝達...区長を通じて村本部へ被災状況等を伝達

行方不明者の搜索...搜索を遂行し、発見次第救助・収容

物資搬送・応急復旧工事

消防機関・医療チーム等の活動支援・協力

非常参集

避難誘導

救助・消火活動

被害確認・伝達

搜索・その他

消防団の設備は

通信手段

- ・消防携帯無線（正副団長2）各分団長5）部長3）..第2、4、5分団）
- ・有線放送、固定電話・携帯電話

小型ポンプ積載車（搭載サイレン、スピーカーによる広報、消火、救助、巡回に活用）

ポンプ小屋内装備

- ・トビロ、ヘルメット等器材
- ・燃料
- ・ホース、ロープ等

家庭・集落・消防団・行政の震災応急対策一覧

区分	家庭	集落	消防団	行政
発生	落ち着いて自分の身を守る 火の確認、始末 家族の安全を確認 (家族に要救助者がいる場合、近所に応援を求める) 戸や窓を開けて脱出口を確保 屋外に避難		団員招集(最高階級位の者が指揮) 詰所に団員集合	震度の確認 職員の非常参集 警戒本部・対策本部の設置
避難	非常持出品を用意 隣近所、誘い合っ て指定された避難 場所(第一次避難 場所)へ避難 (避難途中で要救助 者・火災を発見し たら通報するとと もに救助等に協力)	避難呼びかけのサイ レン・地区内放送(区 長) 役員、避難場所へ 集合	住民の避難誘導	地震情報、被害情報の収集
状況確認 救助活動	区長の指示に従っ て行動	安否の確認 要救助者の救出 消火活動 被害の確認 村対策本部へ被害 状況報告(区長) 避難所の設営、生 活用品の調達 (村長からの避難指 示に基づき第二次 避難場所へ移動) 以下、行政と連絡 をとりつつ消防団 と連携し対応	行方不明者の搜索 以下、区長と協議 しつつ対応	地震情報、被害情 報の収集 被害状況の調査・ 確認 集落情報の収集、 伝達 被災地住民に対し て避難勧告・指示 各機関へ応援要請 状況によって2次 避難場所への避難 指示 以下、関係機関等 と連絡、連携をと りつつ緊急復旧対 策

震災避難所一覧

避難所 集落	第一次避難所	有線番号(電話)	第二次避難所	有線番号(電話)
白鳥	白鳥公民館一帯	23807	北信小学校	22410(0269-87-2006)
	三叉路			
	旧豊栄小学校グラウンド			
平滝	新特別養護老人ホーム			
横倉	北信小学校	22410(0269-87-2006)		
	集落営農共同ドーム車庫			
青倉 森	青倉公民館一帯(公民館~旧藤ノ木亭跡地)	21707	栄村役場	20101(0269-87-3111)
	栄村役場	20101(0269-87-3111)		
泉平 箕作	旧堺小学校泉平分室前交差点		北信小学校	22410(0269-87-2006)
	箕作公民館・神社境内一帯(水害の場合は上原)	24515		
	共同苗間前			
月岡	バイパス大巻T字路			
	小滝公民館一帯	25607		
野田沢	野田沢公民館一帯	25707		
大久保	大久保公民館一帯	26007		
天地	天地・菅沢分岐点			
塩尻	栄村役場	20101(0269-87-3111)	栄村役場	20101(0269-87-3111)
雪坪	志久見公民館一帯	26407		
	志久見公民館一帯(3.4組)	26407		
志久見	旧東部小学校志久見分校グラウンド(1.2組)			
	柳在家公民館一帯	26907		
柳在家	柳在家公民館一帯			
切欠	県道沿い漆平地籍			
長瀬	東部小学校校舎・グラウンド	27301(0269-87-2407)	東部小学校	27301(0269-87-2407)
笹原	笹原集会所一帯			
原向	原向公民館一帯	28802		
当部	県道T字路			
天代	天代公民館一帯	28413		
坪野	坪野公民館一帯	28609		
北野	北野公民館一帯	27804		
中野	中野地区内三叉路			
極野	バス停広場			
五宝木	五宝木集会所一帯	72314	秋山郷総合センター	72202(025-767-2202)
小赤沢	秋山郷総合センター一帯	72202(025-767-2202)		
屋敷	秋山小学校	72204(025-767-2204)		
上野原	上野原公民館一帯	72217		
和山	和山集会所一帯	72268		
切明	雄川閣前庭	72252		

震災対策関係機関連絡先一覧

名 称	所 在 地	電話番号	有 線
栄村役場	栄村北信3433	0269-87-3111	20101
栄村役場 秋山支所	栄村堺18270-2	025-767-2202	72202
栄村高齢者総合福祉センター	栄村北信3601-5	0269-87-3301	20403
岳北消防本部 飯山消防署 栄分署	栄村北信3433	0269-87-1119	22119
飯山警察署 堺警察官駐在所	栄村北信3497	0269-87-2727	21010
飯山警察署 水内警察官駐在所	栄村豊栄2739-1	0269-87-2003	22506
長野県庁	長野市南長野幅下692-2	026-232-0111	
長野県危機管理室 危機管理・消防防災課	長野市南長野幅下692-2	026-235-7184	
長野県北信地方事務所 生活環境課	中野市壁田955	0269-23-0202	
長野県北信保健所 総務課	飯山市静間町尻1340-1	0269-62-3105	
長野県飯山建設事務所 総務課	飯山市静間町尻1340-1	0269-62-4713	
北信森林管理署 水内森林事務所	栄村北信3598	0269-87-2711	20911
北陸地方整備局湯沢砂防事務所 中津川出張所	津南町下船渡戊434-4	025-765-2146	
長野地方気象台 防災業務課	長野市箱清水1-8-18	026-232-3773	
中部電力(株) 飯山営業所	飯山市静間353-5	0269-62-2045	
東日本電信電話(株) 長野支店	長野市南長野新田1137-5	0120-158116	
東日本旅客鉄道(株) 飯山線営業所	飯山市飯山137	0269-62-5341	
東日本旅客鉄道(株) 森宮野原駅	栄村北信3585-2	0269-87-2701	21214
南越後観光バス(株) 津南営業所	津南町芦ヶ崎甲1336-3	025-765-3647	
日本赤十字社 長野県支部	長野市南県1074	026-226-2073	
北信州みゆき農業協同組合 栄支所	栄村堺1190-2	0269-87-3121	29301
北信州みゆき農業協同組合 栄工機燃料サブセンター	栄村堺1221	0269-87-2133	22509
栄村森林組合	栄村北信3601	0269-87-2352	20401
栄村商工会	栄村北信3433	0269-87-2353	20406
栄村農事放送農業協同組合 有線本部	栄村北信3433	0269-87-3111	20001